

**他地域における
路線バス維持の取り組み**

では、他地域ではどのようなようにこうした課題をクリアしているのでしょうか。現在、路線バスの存続問題が全国的に起こっており、どうにか維持しようという様々な取り組みが行政・住民双方ともに行われていますが、その中でも「市民の手」によって成功を収めた有名な事例があります。これが、京都市の醍醐地域で運行される、「醍醐コミュニティバス」です。

その経緯を紹介する前に、京都市醍醐地域を簡単に紹介したいと思います。

京都市京都市伏見区醍醐地域

小学校区 10校区
人口 約5万4千人
世帯数 約2万2千世帯

この地域は京都駅の南東に位置し、地域内に世界遺産である醍醐寺があります。年間を通して多くの観光客が訪れる地域ですが、醍醐寺の他には特に観光スポットもないため、住宅が立ち並んだ一般的な街並みとなっています。

なにか
どうしようか
市をしようか
都留文科大学
をしようか
なにか
なにか



**公共交通を利用して
こんなまちにしたい**

「環境にやさしいまち」

地球温暖化の原因は、二酸化炭素などの温室効果ガスが増加したためだといわれており、多くの経済活動に伴って温室効果ガスは増え続けています。

特に、社会の進展により、自動車から多くの二酸化炭素が排出されているため、『自動車の利用を控える』ことは、とても効果的だといえます。また、自家用車の二酸化炭素排出量は、バスの3倍といわれています。

路線バスをはじめとした公共交通は、こういった問題を解決するためにも必要なものなのです。

「人がいきいき元気なまち」
全国的に生活習慣病やその予備軍といわれる方が増えています。また、電車利用の多い都市部より、自動車利用の多い地方の方が特にこの割合が高いとも言われています。

公共交通を利用するときには、自宅からバス停や駅まで歩いたり、乗り換えのために歩いたり、意外と歩く機会が多くなります。

例えば、1時間車で移動する代わりに、電車やバスを使えば、それだけで消費カロリーは2倍以上になります。

みなさんも、健康のことを考えて、『クルマの利用を少し控えて』、電車やバスを使ってみませんか？



醍醐コミュニティバスの経緯

平成9年、京都市営地下鉄東西線の開業により、京都市から醍醐地域の市バスの削減が打ち出されました。その結果、路線バスの本数が減便となってしまい、高齢者などの交通弱者が居住する地域が多くあったため、地域住民

■醍醐地域の位置図(地図出典: google マップ)



からは公共交通の整備が望まれていました。

そこで、醍醐地域の6つの女性会と10校区の自治会とが協力し、「醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会」を立ち上げました。

この「市民の会」では、女性会のメンバーを中心に、他県の事例を見学するなど、一方で、京都市交通局に対してバス路線開設の陳情・請願活動を行っていました。しかし行政からは予算の関係上、良い返事をもらえず、行政に頼るだけでは路線バスの充実が難しいということになりました。

そこで「市民の会」は活動方針を切り替え、「市民の手で、市民の金で、市民の足になるような」コミュニティバスの運行を目指すこととなりました。

京都大学の中山大助教授(交通工学)や京都造形芸術大学の奈良磐雄教授(ビジュアルデザイン)といった専門家の協力を得て、「市民の会の立ち上げからわずか2年半で運行開始に漕ぎ着けることができました。」

また、実現にあたっては、住民の意見も必要だということで、意見を聞く場を積極的に設けることとしました。開業までには100回以上の説明会・

Thanks for Three Million passengers



The 7th Anniversary

醍醐コミュニティバス DAIGO Community Bus

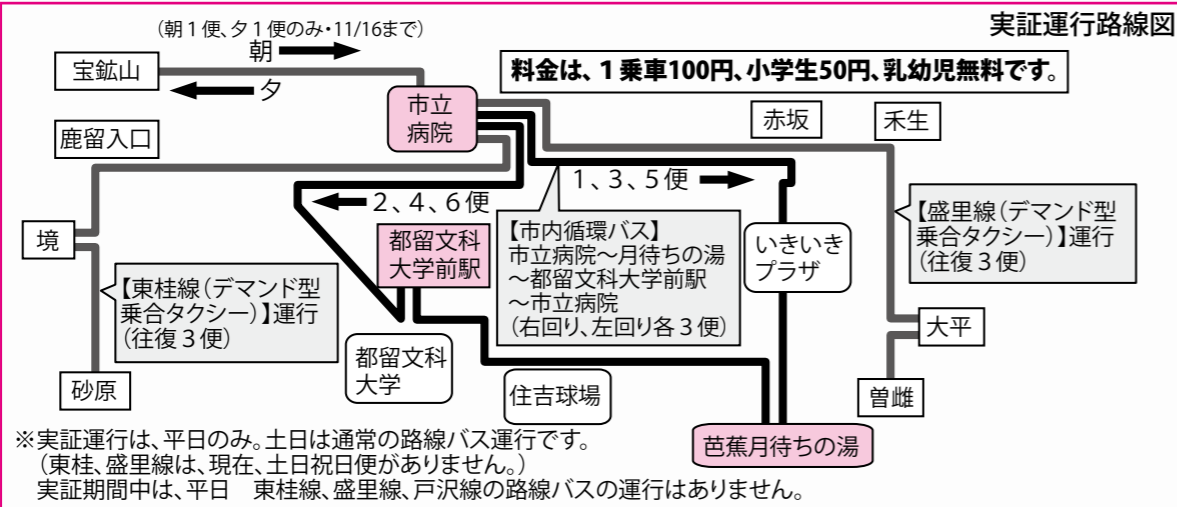
■醍醐コミュニティバス(出典: 醍醐コミュニティバスHP)

実証運行がスタートしています

10月17日より、下谷地区、上谷地区、三吉地区を循環バスが、東桂地域、盛里地域を予約(デマンド)型乗合タクシーが、宝地域で、通学時間帯の増便(11月16日までの間)が行われています。初日の利用者は、循環バス34人、デマンド盛里線10人、東桂線4人、宝線5人でした。

いつも路線バスを使っている方も、初めて使われる方も、是非この機会に利用してみてください。お散歩する気持ちで、楽しんでご利用ください。車内からゆっくりと眺める風景(紅葉がきれいです)に、何か新しい発見があるかもしれません。

実証運行路線図



※実証期間中は、車内アンケートや地域の意見聴取を実施する予定です。地域の声を今後の公共交通体系に反映するため、是非ご協力をお願いいたします。

たとえばこんな使い方

○芭蕉月待ちの湯へ:
平日、たまにはゆっくり休んで温泉でくつろいではいかがでしょうか。月待ちの湯への循環バスは、10時16分と12時22分、13時31分に到着します。もうすぐ「どぶろく」も仕上がります。○デマンドでお買いもの:
午後3時の便で出発してお買い物をして午後4時30分発の便で帰宅。1時間以上の時間がありますので、ゆっくりお買い物ができます。

**バスを使って出かけ
はつらつ湯友健康講座**

芭蕉月待ちの湯で健康教室を開催します。この機会に是非参加してください。
開催日 11月16日、30日、12月14日 13時30分〜1時間程度
対象者 おおむね60歳以上の市民
※入浴・運動制限のない方
定員 定員30名程度
※入館時に受付が必要です。

※循環バスを利用の方は健康教室に優先的に参加できます。車内で乗車証明書をお受け取りください。
問合せ 健康推進課
地域包括支援センター
☎(46)5114